

所外研修⑪ 県総合教育センター「前期・離島長期研修 研修成果報告会」

所外研修の第11回目として、9月8日(火)に沖縄県立総合教育センター主催の「前期・離島長期研修 研修成果報告会」に参加しました。

6ヶ月間、テーマに添った研究を行い、自分の報告に自信と誇りを持ち、堂々と発表する研究員の姿と、理論に基づく手立てを明確にし、簡潔に、そして見る人を引きつけるなプレゼンテーションから、多くのことを学んだ、教育研究員でした。

来る9月25日の「報告会」で、その学びの成果を披露してくれると期待しています。

教育研究員の感想(研修日誌から)

研修報告会では、報告者の立ち振る舞いや発表の仕方、スライドの作り方等を中心にみせていただきました。昨日、プレゼンテーションの所内検討会を終えたばかりだったので、見る視点を明確にして、みることができました。スライドの作り方については、1枚のスライドに対する情報の量や背景・文字等の色や形、大きさ等について考えさせられました。発表の仕方については、話すスピードや声の大きさ、目線の配り方や表情等を、研究の経過を知らず、全く初めてみる側の立場でみることができ、参考になることが多くありました。原稿をただ丸暗記して話すのではなく、研究したことを自分の中にしっかり持って話すことで、相手の心に届くのだろうと感じました。内容をきちんと自分の言葉で伝えられるようにしていきたいと思いました。自分の報告会を前に今回の報告会に参加できたことは大きな収穫になりました。明日からのプレゼンの修正に活かしていきたいと思います。



写真1 県立総合教育センターにて

(金城さくら)

センターの前期長期研修報告会ではいろいろと参考になることがありました。自分自身のプレゼンや報告会に活かしていきたいと考えています。今回の報告会では3点が気になりました。①1枚のスライドへの情報量が多く、スライドを提示する時間が短かったこと ②児童の感想を読み上げると伝わりやすくなるということ ③言葉の使い方(例えば:児童は肯定的な記述がありました。~と考察します。等)自分自身のプレゼンの修正にも以上の3点を意識し、修正をしていこうと考えています。(大城厚)

教育センターの報告会を見ることで、昨日の所内検討会で指摘を受けたことがより実感でき、どう改善していけばよいか具体的にイメージをもつことができました。改善点として、背景や枠、文字の配色の工夫、文で提示するのではなくキーワードで提示し、発表で説明を補うこと等です。所内検討会でも所長が助言されたように、多くの情報が一気に出されると、なかなか頭に入らないため、初めて研究内容を聞く人にとっては、理解しにくいであろうということでした。これまでの研究をより効果的に伝え、成果をアピールするためには、よりシンプルに、分かりやすく魅せることが大切だということが実感できました。今日の研修で学んだポイントを私のプレゼン作成にも活かし、報告書の情報の羅列にならないように伝えたいことを精選し、聞く人が理解しやすいように修正していきたいと思います。(長門照乃)

今日は、話し方やプレゼンのスライドの表示の仕方を意識しながら報告を聞きました。1番驚いたのは、アニメーションの多さと、スライドの背景が多種多様にあったことです。個人的には、1人だけの発表を聞くのであれば、いいのかな?と思うのですが、大人数の発表を聞くと考える必要があるのかなと思いました。しかし、私も背景を薄い青にしようと思っています。まずは作ってから検討したいと思います。

話し方もどのような言葉を使っているのか気になりました。研究の内容についてどのような言葉で繋ぐと違和感が無く話ができるのか、少し参考にしたいと思います。グラフの表記の仕方や色使いについても、私のプレゼンで改善しないといけない所がいくつかありました。1番気をつけたいいけないと思ったのは、話し方です。どうしても速くなるので、自信を持ってハキハキと間をとって話したいと思います。立ち方にも気をつけ、余裕があれば、ジェスチャーも入れてみたいと思いました。(具志堅智美)

今日の報告会では、色使いのNGや文の区切れ方のNGなど、やってはいけない点をいくつも気付くことができ、これから自分のパワーポイントを見直す視点がしっかりと持てました。「調査」と「テスト」の違いなど、言葉を正確に話をしなければならないことも気付きました。さらに、スライドを表示している時間や1つのスライドに入れる情報量についても、見直すきっかけになりました。

アニメーションの量も、原稿を話すときに途切れ途切れになってしまっていたところも気になったので、必要最低限にしていくように修正していきたいです。

今日の報告会を参考に、相手意識をもって、自分のプレゼンを見直していきたいです。(古屋誠一)